

経 済 日 誌

兵庫県

2023年4月～6月

4/7 県内の倒産 前年度13・1%増 354件

帝国データバンク神戸支店がまとめた22年度の県内企業の倒産件数は、354件（前年度比13・1%増）で、3年ぶりに前年度を上回った。負債総額は、563億3400万円（同133・2%増）と2年ぶりに増加した。

4/12 県の総人口 0・55%減 540万2千人

総務省が発表した22年10月1日時点の人口推計によると、兵庫県の総人口は540万2千人となり前年比0・55%減少した。府県間の移動を反映した社会増減はプラスに転じたが、死亡数が出生数を上回る自然減少が続いている。

4/17 県内公共工事 請負額2年ぶり増

西日本建設業保証兵庫支店が発表した22年度の県内の公共工事動向によると、請負金額は4127億9700万円（前年度比8・1%増）で2年ぶりに増加した。件数は3912件（同9・2%減）だった。

4/21 神戸市の物価指数 31年ぶりの伸び

総務省が発表した22年度平均の神戸市の消費者物価指数（2020年＝100、生鮮食品を除く）は、前年度比2・5%上昇の101・9だった。21年度の同▲0・4%から反転し、消費税の引上げ時（14年度の同2・4%）を除き、1991年度（2・6%）以来31年ぶりの伸び幅となった。

5/22 「富岳」2部門で7期連続世界一

理化学研究所はスーパーコンピューター「富岳」が計算性能を競う世界ランキングの2部門で7期連続で1位になったと発表した。1位の部門は、産業利用など処理速度に関する部門とビッグデータなどの解析能力に関する部門である。

5/24 神戸市生成AI条例成立 国内初

神戸市議会は、「チャットGPT」などの生成AIの利用指針を定めた条例改正案を賛成多数で可決した。神戸市によると、生成AIの利用に関する条例制定は国内初となる。神戸市独自の利用環境でリスクを低減し、安全性の高い環境を整備しながら業務の効率化をめざす。

5/26 県内の工場立地件数48件 全国5位

兵庫県は、22年中の県内工場立地件数が前年と同じ48件で、全国5位だったと発表した。地域別では北播磨が14件で最も多く、中播磨が10件と続く。立地面積は7・2ha増の58・0haで全国5位であった。

5/31 須磨海浜水族園閉園 66年の歴史に幕

「須磨海浜水族園」が施設の老朽化などを理由に5月末で閉園され、66年の歴史に幕を下ろした。同園は1957年に「須磨水族館」として開館し、87年の建て替えを機に「須磨海浜水族園」と改称していた。新水族館は24年6月の開業予定で民設民営の施設として再整備される。

6/2 兵庫県 合計特殊出生率1・31

厚生労働省は、22年の出生数が過去最少の77万747人、合計特殊出生率は過去最低の1・26になったと発表した。都道府県別にみると最高は沖縄県の1・70、最低は東京都の1・04であった。兵庫県は1・31で前年比0・05ポイント低下した。

6/8 県内待機児童 5年連続減

兵庫県が発表した県内の待機児童数（4月1日速報値）は、241人（前年比70人減）で5年連続の減少となった。市町別では尼崎市が48人（同28人減）、明石市は44人（同56人減）、姫路市は32人（同11人減）であった。

6/13 景況感 6四半期連続で「下降」超

神戸財務事務所の兵庫県内法人企業景況予測調査によると、4～6月期の全産業の景況判断指数（BSI）は前期比9・5ポイント改善したものの、▲2・5と6四半期連続で「下降」超となった。